

問1 九州地方に位置するある県について、その統計データを見ると、面積は約4132平方キロメートルであるのに対し、海岸線の延長が4183キロメートルと極めて長く、全国でもトップクラスの長さとなっています。また、農業ではジャガイモの生産や畜産が盛んであるこの県はどこですか。
。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. 新潟県
2. 神奈川県
3. 長崎県
4. 福岡県

問2 沖縄県の県庁所在地である那覇市の歴史的・地理的背景に関する説明として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。
。（2024年 大阪府公立入試 類似）

1. 明治時代の廃藩置県において、鹿児島県の出先機関が置かれたことをきっかけに県庁所在地となった。
2. かつての琉球王国の政治拠点であった首里に近く、古くから港町として発展した歴史を持つ。
3. 沖縄本島のちょうど中央部に位置し、米軍基地を返還した跡地に計画的に作られた行政都市である。
4. 九州地方の各県との物理的な距離が最も近いいため、古くから九州の行政管区の一部として発展した。

問3 宮崎県では、ピーマンやきゅうりなどの野菜において「促成栽培」という手法がとられています。この栽培方法の説明と、その目的の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。
。（2023年 長崎県公立入試 類似）

1. 冬の積雪を防ぐために大規模な温室を作り、一年中同じ価格で安定的に野菜を供給する。
2. 夏の涼しい気候を活かして成長を遅らせ、他の地域の出荷が終わった時期に販売して価格を安定させる。
3. 台風の被害を避けるため、収穫時期を秋から夏に前倒しすることで、輸送コストを削減する。
4. 温暖な気候を活かして成長を早め、他の地域の出荷が少ない時期に販売して高い利益を得る。

問4 九州地方に位置するある県は、年間の農業産出額が4000億円を超え、全国でも有数の農業県として知られています。この県の農業産出額の内訳において、豚や肉用牛、ブロイラーなどの「畜産」が占める割合は約60.9%と過半数に達していますが、この県はどこですか。
。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 北海道
2. 宮崎県
3. 茨城県
4. 鹿児島県

問5 九州の複数の都市の産業構造を比較した際、第2次産業の就業者割合が他の都市より際立って高い都市に共通する要因として、最も適切なものはどれですか。
。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 金融業や保険業に従事する人口が多く、都市機能が高度に発達していること
2. 農林水産業に従事する人口が多く、食料品の加工が産業の中心であること
3. 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること
4. 医療や福祉などのサービス業に従事する人口が多く、高齢化社会に対応していること

問6 安価な外国産牛肉の輸入量が増加し、国際的な製品との競争が激しくなる中で、宮崎県の畜産農家が進めている取り組みとして適切な説明はどれですか。
。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 「宮崎牛」などの名称でブランド化を推進し、品質の高さや安全性で輸入品との差別化を図る。
2. 牛肉の生産を段階的に縮小し、すべての農地を輸入の影響を受けにくいサトウキビ栽培に転換する。
3. 海外の安い飼料を使わず、国内産の高級な牧草のみを使用することで、販売価格を輸入品の10倍以上に設定する。
4. 大規模な機械化によって生産コストを輸入牛肉よりも低く抑え、価格の安さで勝負する。

問7 日本の諸都市の気象データにおいて、一月の平均気温が十度前後と高く、かつ七月の月降水量が三百五十ミリメートルを超える非常に多い降水量を示す都市として、最も適切なものはどれですか。
。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 金沢市
2. 大阪市
3. 札幌市
4. 宮崎市

問8 九州地方の大大分県では、活発な火山活動の恩恵を受けた観光が盛んです。市内各所から激しく湯煙が立ち上がる景観が「地獄」と呼ばれ観光名所となっている地域において、その高熱の蒸気を直接利用して食材を加熱する伝統的な調理文化を何といいますか。
。（2022年 沖縄県公立入試 類似）

1. 地獄蒸し
2. かんだき
3. 蒸し風呂
4. 石焼き

問9 九州地方の北部に位置し、福岡県と佐賀県にまたがって広がる、日本を代表する稲作地帯として知られる平野はどれか。
。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 十勝平野
2. 宮崎平野
3. 熊本平野
4. 筑紫平野

問10 鹿児島県に広く分布するシラス台地において、その自然条件を背景に発展したこの地域の農業の特色として最も適切なものはどれですか。
。（2015年 兵庫県公立入試 類似）

1. 火山灰が堆積した地層は水持ちが悪いため、稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および肉用牛などの畜産が発展した。
2. 一年を通じて温暖な気候を利用して、平坦な地形を活かして、冬でも雪が降らないことを前提とした稲の二期作が行われている。
3. 地盤が非常に強固で肥沃な土壌であるため、重機を用いた大規模な小麦栽培と、大都市向けの近郊農業が中心となっている。
4. 土地が低く水がたまりやすいため、大規模な排水設備を整えることで、日本有数の米どころとして水田単作地帯となった。

問11 九州地方北部に位置する筑紫平野では、夏に米を、冬に麦を栽培するといったように、同じ耕地で一年のうちに二種類の異なる作物を栽培する農業が行われています。このような栽培方法を何といいますか。
。（2025年 京都府公立入試 類似）

1. 抑制栽培
2. 二毛作
3. 二期作
4. 促成栽培

問12 九州地方の宮崎平野で盛んな促成栽培において、ビニールハウスを用いて野菜の出荷時期を早める最大の目的として、最も適切な理由はどれですか。
。（2024年 徳島県公立入試 類似）

1. 夏に頻発する台風の影響を避けるために、全ての収穫を春までに終わらせる必要があるため
2. 他の産地からの出荷が少ない時期に市場へ届けることで、より高い価格で販売するため
3. 成長を早めることで、同じ土地で1年間に収穫できる回数を3回以上に増やすため
4. ビニールハウス内で育てることで害虫の被害を完全に防ぎ、農薬の使用をゼロにするため

問13 鹿児島県の農業についてまとめた資料の中で、広大な台地を利用して茶の栽培や畑作、畜産が盛んに行われている背景として説明される、この土地の成り立ちはどのようなものですか。
。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 過去の巨大な火山活動による火砕流などの噴出物が堆積した
2. 森林を大規模に伐採し、人工的に土を盛り土して造成した
3. 地殻変動によって海底が押し上げられ、平らな台地となった
4. 河川が長年かけて山から土砂を運び、平坦な土地を形成した